

第4回かながわ教育学講座

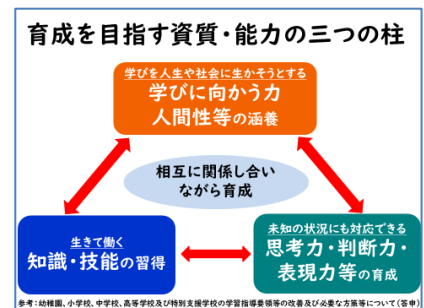
令和3年9月26日、第4回かながわ教育学講座が開催されました。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下のため、今回も拡大防止の観点からオンラインでの実施となりました。第4回教育学講座のテーマは「いま求められる授業」です。神奈川県のめざすべき教職員像の3要素（「人格的資質・情熱」「課題解決力」「授業力」）の1つ「授業力」について学びを進めていきました。

講義「いま求められる授業」

変化が激しく、予測困難な時代を生き抜いていく子どもたちにどのような力を身に付けさせたら社会の中心となって活躍できるのでしょうか？ 講義では、いま求められる「授業の在り方」や子どもたちに「身に付けさせたい力」について学び、「授業づくり」について考えました。

新学習指導要領では新しい時代の中で、一人ひとりの子どもたちが自分のよさや可能性を認識し、自己肯定感を持つとともに、多様な人々と協働しながら様々な社会の変化を主体的に乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる、「生きる力」を育成することが求められていること。「生きる力」の3つの要素として、「豊かな心」「すこやかな体」「確かな学力」があること。「生きる力」のうち「確かな学力」の中心となる「資質・能力」を、子どもたちに育成するためには、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業づくりが大切になることなどが説明されました。

では、「いま求められる授業」とはどのような授業なのでしょうか？その後のグループ活動で考えました。



グループ活動

講義の後は、リモートによるグループ活動を行いました。「いま求められる授業」について事前に各自が考えてきたことをもとに、グループに分かれて意見交換をしました。仲間の意見を聞きながら、自分には無かった視点や発想に気づき、学びを深める様子が見られました。活動の最後には、グループ担当者から、授業づくりについて教員としての豊富な経験に基づいた話を聞くことで、テーマについて更に理解を深めました。

受講者の感想

- 今回もオンラインでの講座でしたが、各々積極的に発表でき、良いグループ活動ができたと思いました。
- 同じグループの仲間たちと意見を交換することで、より自分の考えを深めることができたと感じました。
- グループワークはお互いの刺激になり、また頑張りたい気持ちになりました。